

\*\*\*\*\*

やらまいか@gri forest ニュース 334号  
(2023年8月15日配信)

\*\*\*\*\*

## 【目次】

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

- ・令和5年度農福連携技術支援者育成研修の受講者募集について

### ■--お知らせ--■□■□■

- 1 農作業中の熱中症を予防しましょう
- 2 農薬危害防止運動の実施について
- 3 Webマガジン「aff」7月号について

### ■--お出かけ情報--■□■□■

- ・浜名湖花博2024県民の日イベント-花すくい体験-について

### ■--西部農林活動リポート--■□■□■

- ・西部農林活動リポート(6・7月)

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

- ・令和5年度農福連携技術支援者育成研修の受講者募集について

農業者が障害のある人を受け入れる際に、農業現場において関係者に実務的なアドバイスを行う「農福連携技術支援者(農林水産省)」を育成するため、農業と福祉の知識と農福連携を進める上で必要な技術を実践で学ぶ研修会を開催します。

#### ●日程

- ・座学研修(e-ラーニング)配信期間:10月16日(月)~31日(火)
- ・実地研修:11月1日(水)、7日(火)、8日(水)、9日(木)

#### ●場所

- ・男女共同参画センターあざれあ(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)
- ・ワークピア磐田(磐田市見付2989番地3)

#### ●主催

静岡県

#### ●定員

20人(定員を超える応募があった場合は受講者の調整を行います)

#### ●対象者

農福連携の支援に関わっている者又はこれから関わろうとする者  
(農業者、福祉事業者の職員、職業指導員、生活支援指導員、JA職員等)

●参加料  
無料

●参加申込  
ホームページに掲載している申込用紙により、郵送又はメールで、9月8日(金)までに申込み

●詳細は以下のページをご参照ください  
<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-325/universal/noufuku.html>

■--お知らせ--■□■□■

---

## 1 農作業中の熱中症を予防しましょう

---

本年、5月1日～9月30日は「熱中症対策強化期間」です。  
夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。  
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。

### ●熱中症のリスクについて

- ・毎年、農作業中の熱中症により約30人が死亡しています。
- ・猛暑日が続く真夏だけでなく、暑さに慣れていない初夏における高温日、梅雨明けで暑さが本格化する時期、災害からの復旧作業時などが、熱中症リスクが高まる時期・場面です。
- ・熱中症の危険性が極めて高くなると予測される地域に発令される「熱中症警戒アラート」の情報が、テレビ等の天気予報、環境省や気象庁のウェブサイト、農林水産省が提供するMAFFアプリ等で入手できます。

### ●予防のポイント

- ・暑さを避ける(できる限り高温時の作業は避け、作業を行う場合は日陰や風通しのよい場所で行う)
- ・こまめな休憩と水分補給
- ・単独作業は避ける(やむを得ず単独作業を行う場合も時間を決めて携帯電話等で定期的に家族や知人と連絡を取り合う)
- ・熱中症対策アイテムの活用(つばの大きい帽子のほか、吸湿速乾性の衣服や装具、空調服やミストファンなど)
- ・そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう

### ●熱中症が疑われる場合には

- (1) 作業を中断(代表的な症状は、手足のしびれ・めまい・吐き気・頭痛、汗をかかない、まっすぐ歩けないなど)
- (2) 応急処置(涼しい場所に避難し、衣服を緩めるとともに、首筋や脇の下・足の付け根を冷やす応急処置を行う)
- (3) 病院へ(応急処置で症状が改善しない場合、躊躇することなく医療機関での診察を受ける)

### ●熱中症対策パンフレット

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-25.pdf](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-25.pdf)

---

## 2 農薬危害防止運動の実施について

---

農林水産省は、農薬の安全かつ適正な使用、使用中の事故防止、環境に配慮した農薬の使用等を推進するため、毎年、6月から8月まで、関係省庁や都道府県などと連携して、農薬危害防止運動を実施しています。

今年度の運動テーマは「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」です。農薬を安全かつ適正に使用して、事故や被害を未然に防ぎましょう。

### ●特に注意するポイント

- (1) 農薬ラベルの確認と使用履歴の記帳の徹底
- (2) 土壌くん蒸剤（クロルピクリン剤）を使用したときは必ず被覆
- (3) 住宅地の近くでは事前に周知、飛散を防止
- (4) 誤飲を防ぐため、農薬は施錠して適切に保管、飲食物の容器に移さない

### ●詳細は以下のページをご参照ください

[https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_tekisei/](https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/)

---

## 3 Webマガジン「a f f」7月号について

---

「a f f（あふ）」は、消費者の皆さん、農林水産業関係者、そして農林水産省を結ぶWebマガジンです。

施策の現場のリポートやインタビューのほか、暮らしに役立つ情報も満載し、農林水産業における先駆的な取組や、農山漁村の魅力、食卓や消費の現状などをビジュアルで分かりやすくお伝えします。

農林水産省が編集・発行し、株式会社角川アスキー総合研究所が編集協力しています。

「a f f（あふ）」は、a g r i c u l t u r e（農業）、f o r e s t r y（林業）、f i s h e r i e s（水産業）の頭文字をとったタイトルです。

### ●ページURL

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2307/>

### ●掲載内容について

- (1) 特集「はばたけ！農業高校生」

動物、食品、地域環境などについて、基礎的な知識や技術、その活用方法などを学ぶことができる農業高校。

その学習項目は多岐にわたり、生涯生かせる経験を積むことができます。

今回は、中でも特徴的な学科や科目がある高校が紹介されています。

#### <今回の見どころ>

- ・農業高校の特色ある学習分野
- ・競走馬の種付けから販売まで 育てた馬が2500万円で落札も
- ・「そば」必修の国内唯一の高校 そば打ち全国大会では4連覇中
- ・最新のテクノロジーを学べる「植物工場」

- (2) 連載企画「未来へつなぐ和食」

第一線で活躍する和食の達人から将来を担う子どもたちへ想いをつなぐ連載企画「未来へつなぐ和食」。

初回は山田チカラさんです。

山田さんは、肉を昆布締めにしたたり、エスプーマという器具を使って和食の出汁をムースに

するなど、多彩な調理法を駆使して独自のフュージョンスタイルを生み出す食文化プロデューサーです。

また、食材と消費者を料理でつなぐことをライフワークとしています。

今回は、和洋の料理に精通する山田さんが和食のベースとなる出汁とそのうま味について語っています。

<チェックポイント>

- ・日本にはうま味のもとになる食材がたくさんある
- ・うま味を自在に表現できるのが和食のすごさ
- ・西洋料理出汁は「取り出す」、和食の出汁は「出してもらう」

■--お出かけ情報---■□■□■

---

・浜名湖花博2024 県民の日イベント-花すくい体験-について

---

浜名湖花博2024の開催を記念して、県民の日に協賛した花すくい体験を行います。色とりどりの花の中から、好きな花を選んですくってください。

●開催日

2023年8月20日（日）

●開催時間

午前10時から午後2時まで（花が無くなり次第終了）

●開催場所

浜名湖ガーデンパーク 水遊び広場付近

●内容

- ・花すくい
- ・浜名湖花博2024の紹介

●費用

参加無料

●主催

浜名湖花博2024実行委員会

●問い合わせ

053-482-7351

●イベント紹介ページURL（静岡県公式HP内）

<https://kenritsu-shinrinkouen.jp/program-event/>

■--西部農林活動レポート---■□■□■

---

西部農林活動レポート（7月）

---

県西部農林事務所ではさまざまな業務・活動を行っています。その一部をご紹介します。

